



2024年10月期 決算説明会

2024年12月13日（資料開示12月11日）

くら寿司株式会社

Kura Sushi, Inc.

（銘柄コード 2695）

目 次



- 2024年10月期 実績
- 2025年10月期 計画

2024年10月期 実績

連結業績ハイライト



- ✓ 連結売上高は2,349億円で、過去最高を更新した
- ✓ 連結営業利益は56億円（132%増）、連結経常利益は62億円（115%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は32億円と、それぞれ大幅な増益となった

(単位:百万円)

	23/10期 通期	24/10期 通期	対前期 (%)
売上高	211,405	234,950	11.1
営業利益	2,456	5,699	132.0
経常利益	2,882	6,224	115.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	863	3,226	273.7

セグメント別の状況

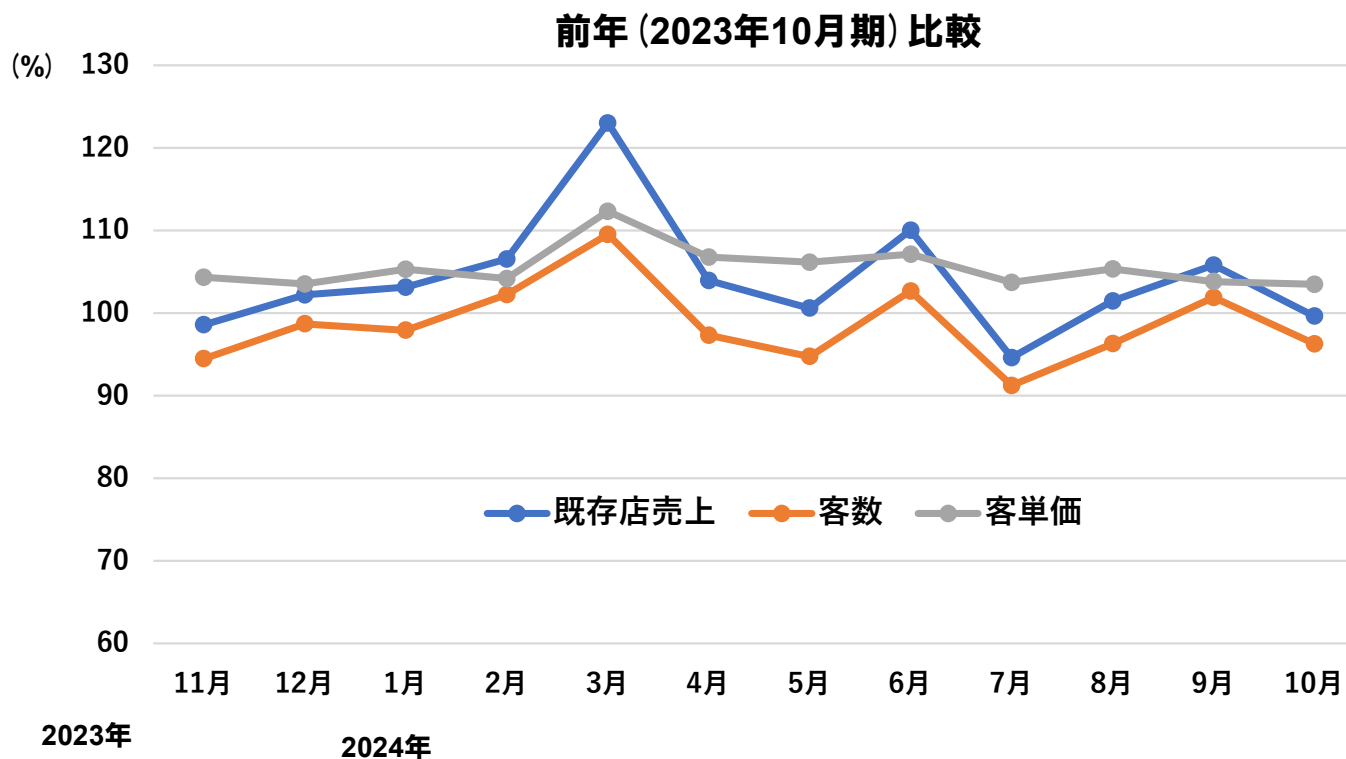
- ✓ 日本は、大幅な増収増益となった
- ✓ 米国は、同国内の景気動向の影響を受け、減益となった
- ✓ アジア(台湾)は、コラボ等により増収となるも、組織強化のための投資等により減益となった

(単位:百万円)

	2023年10月期(通期)		2024年10月期(通期)			
	売上	経常利益	売上	増減(%)	経常利益	増減(%)
くら寿司(日本) 2023/11~2024/10	164,108	1,381	174,273	6.2	6,569	375.5
Kura Sushi USA,INC. 2023/09~2024/08	25,975	247	35,866	38.1	-1,041	—
亞洲藏壽司股份有限公司 2023/10~2024/09	21,567	1,465	25,126	16.5	915	-37.5
合 計	211,405	2,882	234,950	11.1	6,224	115.9

既存店売上の状況（国内）

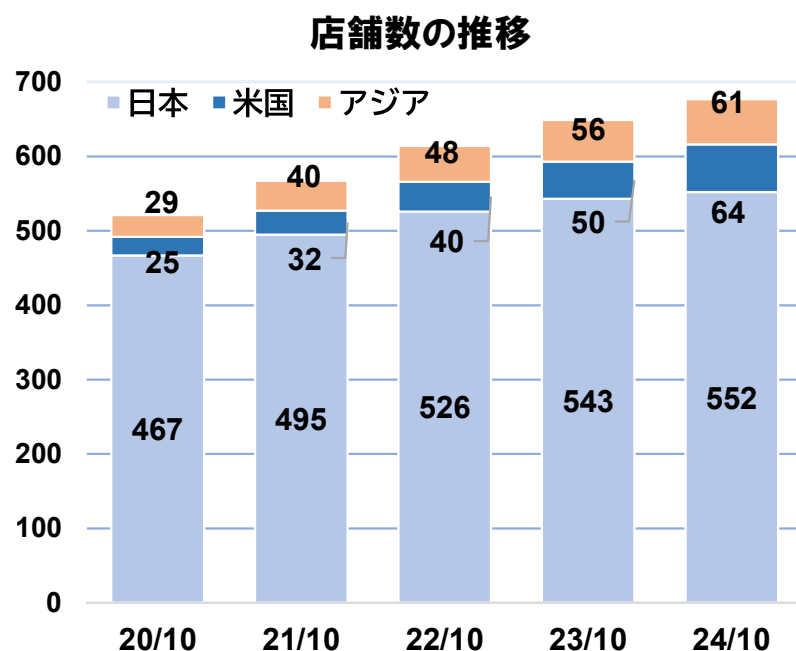
- ✓ 既存店売上は、安定的に推移し、通期で104.1%となった
- ✓ フレキシブルな商品設計等の継続により、安定的に客単価が前年を上回って推移



2024年10月期振り返り(出店戦略)

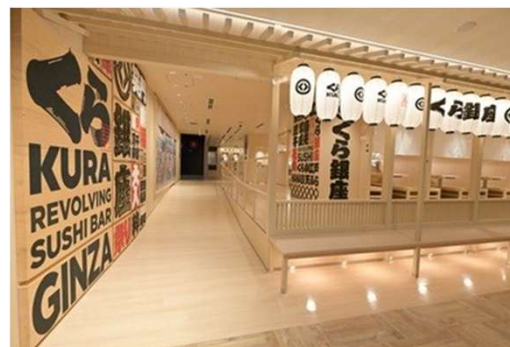


- ✓ 連結合計で、28店舗を新規出店(日本:9、米国:14、アジア:5)
- ✓ 日本では、国内6店舗目となるグローバル旗艦店「銀座」を2024年4月にオープン。
インバウンド需要も取り込む



グローバル旗艦店6号店

くら寿司 銀座



寿司・天ぷら・団子を作る様子をご覧いただける屋台を設置。
記憶に残る食体験を提供する

2024年10月期振り返り(日本:フレキシブルな商品設計)

- ✓ 出店エリアの賃料・人件費の状況、エネルギー価格や調達価格の変化にあわせ、フレキシブルに商品設計を行い、過度な安売りをすることなく、適正な利益を確保
- ✓ 魅力的な商品でのフェア展開、最低価格帯も十分に品揃えし、顧客満足と両立



くら
KURA

- 



当社の強み「現場力」が各施策を強力に推進

- ✓ 当社の強みである「現場力」（現場と経営との密な連携がとれた顧客満足につながる「おもてなし力」）が、各施策を強力に推進。好業績に大きく寄与
- ✓ 従業員の技術や接客等を競うコンテストを定期開催。「おもてなし力」を向上させている
- ✓ 基本給の約10%の賃上げや達成報奨金の支給を通じ、モチベーションの上昇、さらなる「現場力」強化につなげる



技術や接客を競うコンテストの様子



2024年10月期振り返り(海外:米国、アジア)



米国:Kura Sushi USA,INC.

- ✓ 売上が358億円(前年同期比38%増)、経常損失が10億円となった
- ✓ 14店舗を新規出店(前年は10店)



2024年5月オープンの「ローズビル店」

アジア:亞洲藏壽司股份有限公司

- ✓ 売上が251億円(前年同期比17%増)、経常利益が9億円となった
- ✓ 5店舗を新規出店(前年は6店)

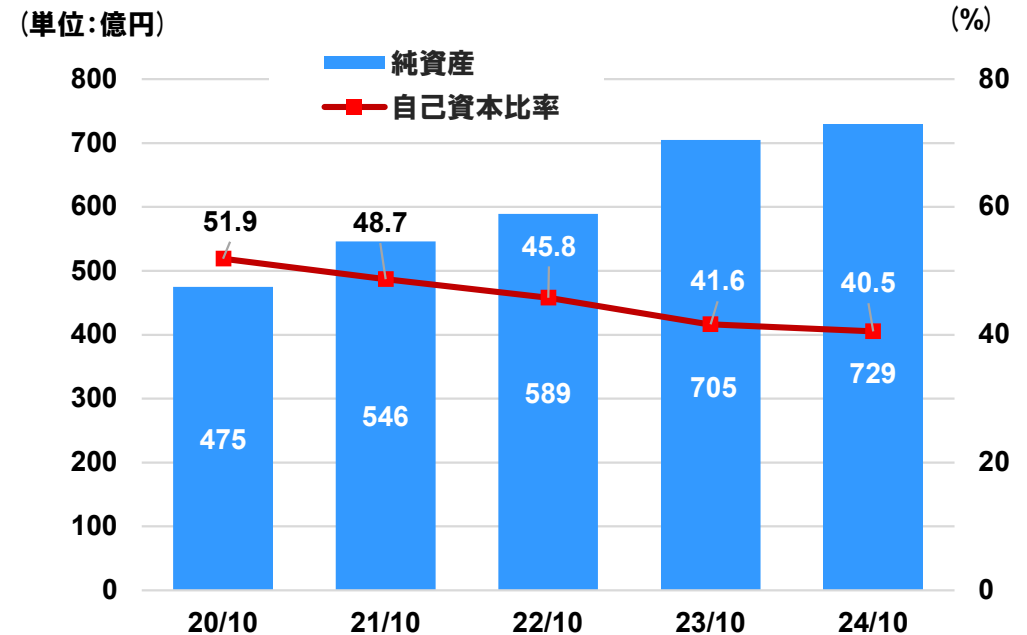


2024年7月オープンの「沙鹿中山路店」

BSの状況／自己資本比率

- ✓ 純資産額は729億円。自己資本比率は、40.5%と高水準を維持
- ✓ 現預金は41億円増加し、230億円となった
- ✓ 不測の事態に備え、財務の健全性を重視し、維持していく方針

	(単位:百万円)		
	23/10期末	24/10期末	増 減
流動資産	30,761	34,307	3,545
[現預金]	18,940	23,043	4,103
固定資産	99,357	105,139	5,781
資産合計	130,119	139,446	9,327
流動負債	26,171	30,978	4,807
固定負債	33,382	35,521	2,139
負債合計	59,553	66,499	6,946
純資産	70,566	72,946	2,380
負債・純資産合計	130,119	139,446	9,327
自己資本比率 (%)	41.6	40.5	▲1.1



※20年10月期の自己資本比率の変動は、国際会計基準の「リースに関する会計処理の変更」により総資産が増加したためです。

2025年10月期 計画

2025年10月期計画概要



- 国内：当社の強みを更に伸ばすことに注力。競合との差別化推進！
- 海外：〈米国〉積極出店を継続、〈アジア〉台湾は既存店に注力

主な重点取り組み

- 独自性を強化（回転レーン活性化〈プレゼントシステム〉、コラボ推進、現場力強化）
- 過度な安売りはしない（フレキシブルな商品設計の継続）
- 大阪・関西万博への出店
- 都心エリアへの出店強化（インバウンドも取り込み）
- 海外 米国：積極出店を継続 アジア：台湾は既存店に注力

2025年10月期業績予想

売上高 **2,430億円**

経常利益 **52億円**

独自性を強化（回転レーンの活性化＜プレゼントシステム＞）

- ✓ 大手回転寿司チェーンの中で唯一、「回転レーンでお寿司を提供する」特長を生かした新施策。業界初となる日頃の感謝を伝えるサプライズサービス
- ✓ パレードのようにポップな音楽にのせて、輝く装飾と中身の见えない仕様の抗菌寿司カバーに入った特別メニューが回転レーンを流れ、お客様の元へ届くというもの。お客様のテーブルに差し掛かると、「おめでとう」や「ありがとう」というメッセージが映し出される仕組み（対象店舗限定）

話題沸騰!
土日祝に加え
平日も開催!
対象店舗限定

～回転レーンでプレゼントが届く!～

プレゼントシステム

おめでとう!

大切なお祝いの日に! 実施期間: 2024年11月16日(土)～
映像と音と共にスペシャルメニューをお届け!

- ① タッチパネルで
「プレゼントケーキ」
「プレゼントプリン」
「プレゼントちらし」から
どれか1つを選んでね。



- ② 下のレーンに
注文したプレゼント商品が
写真のように流れてくるよ!



- ③ なんと!
自動で寿司カバーが
開いたらプレゼントが!



フレキシブルな商品設計の継続

- ✓ 出店エリアの賃料・人件費の状況、エネルギー価格や調達価格の変化にあわせ、フレキシブルに商品設計を行い、過度な安売りをすることなく、適正な利益を確保
- ✓ 魅力的な商品でのフェア展開、最低価格帯も十分に品揃えし、顧客満足と両立

2024年10月期振り返り(日本:フレキシブルな商品設計)

- ✓ 出店エリアの賃料・人件費の状況、エネルギー価格や調達価格の変化にあわせ、フレキシブルに商品設計を行い、過度な安売りをすることなく、適正な利益を確保
- ✓ 魅力的な商品でのフェア展開、最低価格帯も十分に品揃えし、顧客満足と両立



大阪・関西万博での出店



- ✓ くら寿司史上最大の店舗。「回転ベルトは、世界を一つに。」をコンセプトに、世界各国の食を提供する「次世代のレストランモデル」として回転寿司を世界に発信する
- ✓ くら寿司史上最多の座席数(338席)と最長の回転ベルト(135M)で、回転寿司ならではの寿司が回る楽しい食体験を世界中のお客様に提供する



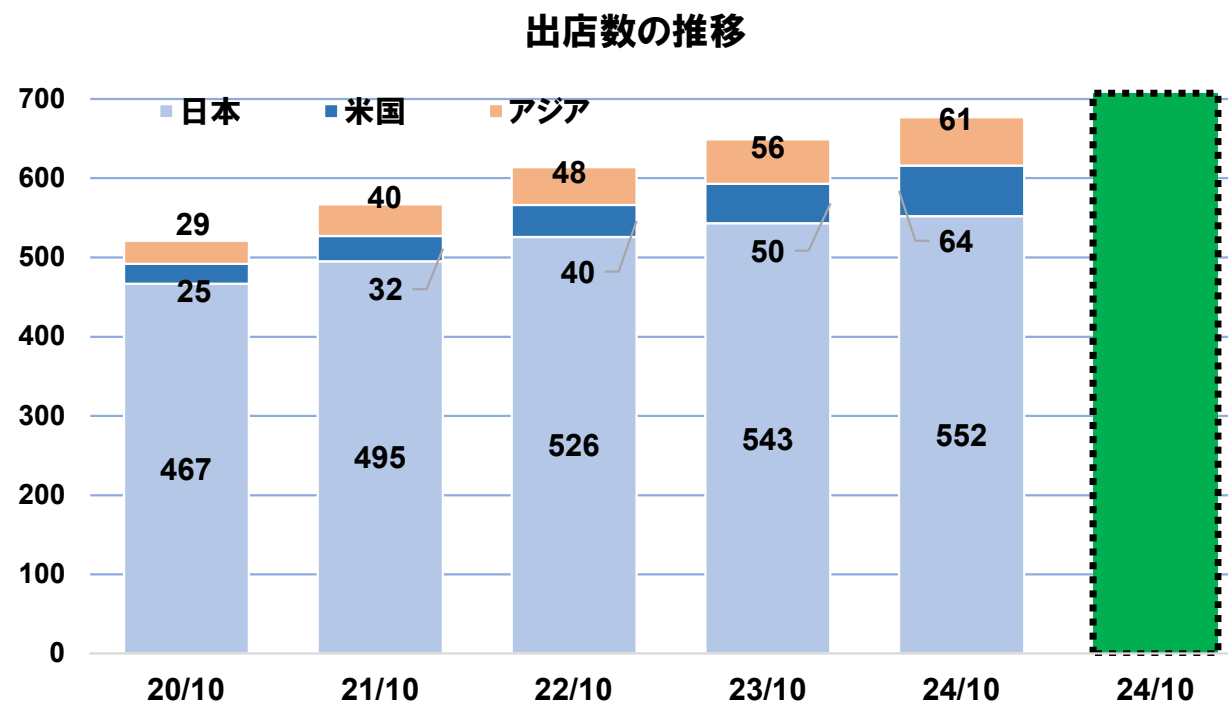
大阪・関西万博店の外観イメージ



大阪・関西万博店の店内イメージ

都心エリアへの出店強化 (インバウンドも取込み)

- ✓ グループ全体で30店前後を計画 (日本10店前後、米国14店、アジア5～10店)
- ✓ 日本は集客力の高い都心エリアへの出店を強化、米国は積極出店を継続、アジアも出店を継続



海外子会社（米国、アジア）



米国: Kura Sushi USA, INC.

- ✓ 売上は\$275M～\$279Mを見込む
- ✓ 6,800万ドルの普通株公募を実施
- ✓ 14店を出店予定。積極的な出店を継続



2024年10月オープンの「チェリーヒル店」

アジア: 亞洲藏壽司股份有限公司

- ✓ 5～10店を出店予定
- ✓ 「ピツくらポン」を活かし、人気キャラクターとのコラボ企画を継続的に展開

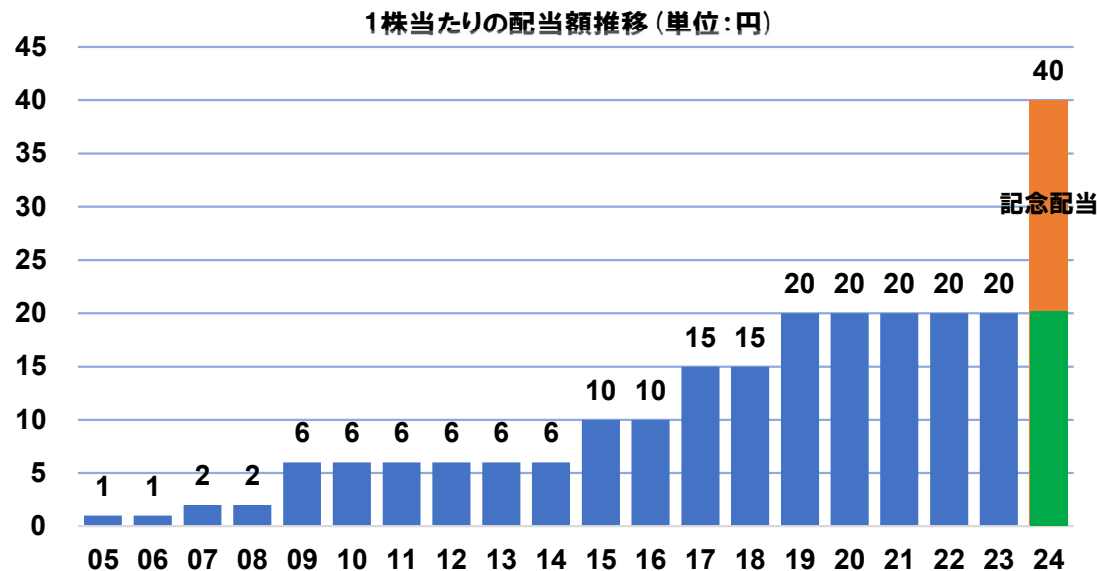


2024年11月オープンの「板橋遠科店」

配当政策・株主優待

配当政策

- ✓ 安定的な配当が基本方針
- ✓ 24/10期は40円（内、記念配当20円）。25/10期は20円を予定



※1株当たりの配当額は、2021年5月実施の株式分割後の金額に修正しております。

株主優待

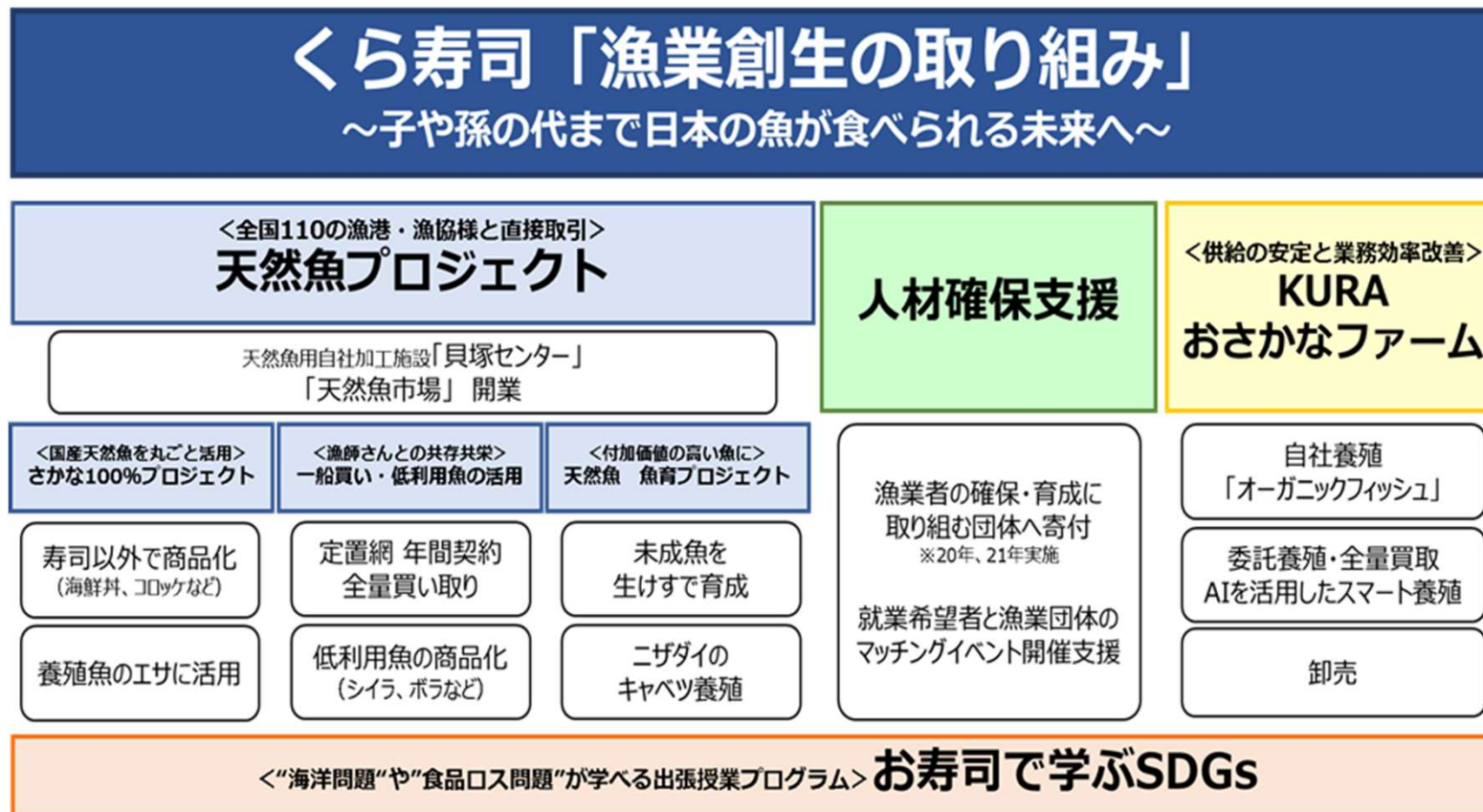
2024年12月11日にお知らせのとおり、株主の皆様への公平な利益還元のあり方という観点から、慎重に協議した結果、株主優待は廃止させて頂くことになりました

ご理解の程よろしくお願いします

**【参考資料】 漁業創生への取り組み
(社会のサステナブルな発展に貢献)**

くらの取り組み（全体まとめ）

- ✓ くら寿司は、社会のサステナブルな発展に貢献するため、特に「漁業創生」に注力し、取り組んでいます。



主な取り組み



さかな100%プロジェクト

- ✓ 国産天然魚の食べられない部位を活用するプロジェクト。魚の骨やアラを魚粉にし、くら寿司で販売する養殖魚のエサの一部として活用しています。こうして生まれた画期的な魚が、愛媛県の株式会社宇和島プロジェクトの協力を得て、「宇和島産みかんぶり」と「宇和島産みかんサーモン」を業界初の循環フィッシュとして商品化しています。



くらおさかな市場

- ✓ くら寿司が運営する、天然魚にこだわった漁場直送の市場です。天然魚プロジェクトの一環として「日本人が日本の魚を食べられる未来を創造する」をコンセプトとして、仕入から販売まで全て自社で行う製販一体の新しい魚屋です。「日本人が日本の魚を食べられる未来を創造する」という思いで、運営しています。



主な取り組み



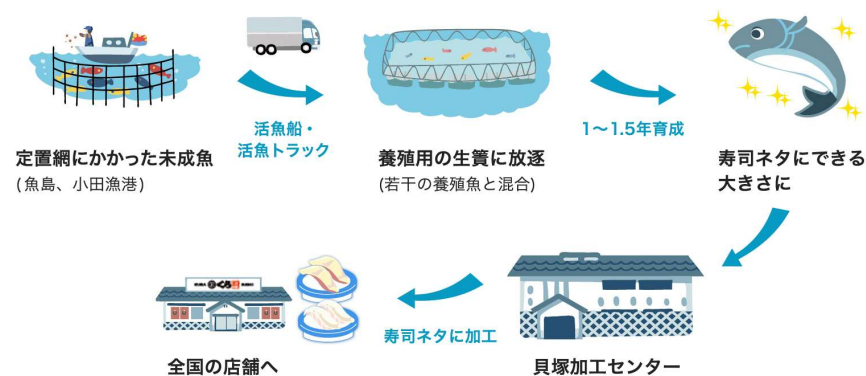
地魚地食の取り組み

- ✓ 「天然魚プロジェクト」でつながる全国の漁港・漁協様の協力の下、2023年から動き始めた取り組み。各地域で水揚げされた地魚を使ったメニューを、各地域内の店舗にて「くらの逸品」として販売。それぞれの地域の旬の地魚をお楽しみいただける、地産地消ならぬ「地魚地食（じざかなじしょく）」の取り組みです。



天然魚 魚育プロジェクト

- ✓ 限られた水産資源を守るために2019年6月からスタートした、大手回転寿司チェーンでは初めての取り組みです。「一船買い」の定置網にかかった未成魚を寿司ネタにできるサイズまで育て、最終的には商品価値の高い成魚として出荷することを目指しています。



主な取り組み



KURAおさかなファーム

- ✓ 養殖から販売までの一貫した事業を通じて、社是でもある「食の安心安全」「漁業創生」の実現に努めていきたいと考え設立。AIを活用した「スマート給餌機」での養殖を通じ、飼料製造・漁場での養殖・製品加工までの生産プロセスおよびトレーサビリティにおいても国際的基準で養殖した「オーガニックはまち」を出荷しています。魚種・出荷量を増やしています



国産天然魚を丸ごと買い取る「一船買い」

- ✓ 定置網にかかった国産天然魚を年間契約で丸ごと買い取る「一船買い」に取り組んでいます。漁師さんとの共存共栄を目指し、市場にあまり出回らない魚も含め、収入の安定につながればと、様々な種類やサイズの魚も買い取っています。





「Disclaimer」

本資料は、当社グループについての一般的な情報提供を目的としており、当社グループの発行する株式への投資勧誘を目的とするものではありません。
本資料に記載される情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社がその正確性、安全性を保証するものではありません。
また、本資料に記載される当社グループの計画、予想その他の将来情報については、現時点における当社の判断又は考えにすぎず、実際の当社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、経済情勢、外食産業の市場動向、消費者の嗜好の変化、原材料価格の変動等により、本資料記載の内容や将来予想と異なることがあります。

【お問い合わせ先】

くら寿司株式会社 IR部 中原

072 - 493 - 6189

investor-relations@kura-corpo.co.jp